

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1272700624		
法人名	医療法人社団 創造会		
事業所名	グループホームヴィスタリオ		
所在地	千葉県我孫子市柴崎121-2		
自己評価作成日	平成31年1月11日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成31年1月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者1人1人との関わりを大事にしている。また、本人の状態に合わせ、話し合いの上で看取りの対応も行なえるようにしている。毎食の食事や行事で職員が作る料理は喜ばれています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームヴィスタリオ」は、デイサービスが併設されており、日頃から交流の機会が多く、入居者の生活活性化に繋がっている。また、戸外活動を積極的に行っており、特に畑での野菜作りに力を入れている。医療面においては、看護師資格のあるホーム長や非常勤の看護職員による適切な医療支援の実施及び健康管理・相談を行っており、入居者・家族・職員の不安解消に繋がっている。法人として働きがいのある職場を目指しており、人事考課・異動希望自己申告書等を行い、個々の意見・希望に配慮した、適切な育成に取り組んでいる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19) ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12) ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念は見えるところに提示し、確認できるようにしている。	「いつも笑顔で楽しく、活気のある、自由なその人らしい生活、安心と安らぎのある生活の支援」を施設理念に掲げており、事業所内に掲示している。新人研修や現任研修、会議等を活用して、職員へ周知し、理念に基づいた支援の実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常定期に外出や散歩を行っていて、地域の方たちとの挨拶が出来ている。また、近隣の保育園児と世代間交流も行なっている。	日頃から自治会や地域行事等を通じて、積極的に交流し、地域との繋がりを大切にしている。また、地域の中校生の職場体験やボランティアの受け入れ、保育園児との交流も行っており、入居者の楽しみや生活の活性化につなげている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	職員が認知症サポーター養成講座を定期的に行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方、市職員、家族会、法人職員の出席の元、2か月に1回行っている。	市職員・地域包括支援センター職員・民生委員・自治会員・家族等が参加し、2か月に1回開催している。会議では、施設活動報告や意見・情報交換を行い、施設理解の促進・サービスの質の向上に取り組んでいる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の研修やグループホームの分科会などで情報交換を行っている。	市の担当者とは、運営に関わる相談や報告を行い、連携を図っている。また、運営推進会議・研修会・会議等を通じて、意見・情報交換を行う機会を設け、地域の課題解決に向けた取り組みを行っている。地域での福祉機器展などにも参加している。	

【千葉県】グループホーム ヴィスタリオ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	委員会を設け、2か月に1回会議を行っている。また、職員へは会議などで学習会を行っている。	身体拘束排除におけるマニュアルを整備すると共に、内部研修を実施し、身体拘束の無いケアの実践に取り組んでいる。また、定期的な委員会の開催により、支援方法を検討し、適切な対応に努めている。日中は玄関の施錠は防犯上行ってはいすが、家族の同意も得ており、安全で自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会を設け、2か月に2回会議を行っている。また、職員へは会議などで学習会を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会や勉強会を行ない、伝達している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にはしっかりと時間を設けて説明、改定時にも文章や口頭での説明を行っている。疑問点などがあれば話し合い、疑問点が解消するように説明に努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年1回の家族会や運営推進会議での意見交換の場を設けている。また、面会時や電話などで意見をいつでも言ってもらえるように受け付けている。伝えにくい場合を考慮し、意見箱を設置している。	面会や電話連絡の際に、家族から意見・要望等を確認している。また、運営推進会議、家族会の開催を通して、意見・要望等を表せる機会を作っている。挙げた意見や要望等については、会議や連絡ノート等を活用して、職員間で周知・検討の上、適切な改善に努めている。定期的に、市の介護相談員が来所しており、入居者の思いを汲み取っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議や人事考課時に個人面談で職員の考えや意見を聞ける機会を設けている。	定期的に会議を開催し、職員からの意見・提案を確認している。また、定期的に個人面談及び人事考課を実施しており、個々の意見・希望に配慮した上で、適切な人材育成に取り組んでいる。	

【千葉県】グループホーム ヴィスタリオ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年1回個別の要望を法人に伝えられるように意見書を出す機会を設けている。幹部職員も参加する新年会や食事会も設けていて気楽に話ができるようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人に研修グループがあり、職員全員に内部研修を必須としている。スキルアップに必要な研修は声掛けを行い、本人の希望も取り入れている。資格の取得も勧めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内委員会活動や研修会、法人主催のフェスタなどの参加での交流あり。また、市内グループホーム分科会などに参加し、交流の機会を設けている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前から本人と面談を行っている。入居日はできれば午前からの入居を願ひし、少しでも早く生活に馴染めるように、また、本人の事を知る事が出来るように話す時間を多く設けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時から聴ける範囲で困っている事等を聴き、本人の状態を考え、当施設入居で良いのか、より良い方法はないのか等も含め、要望・不安などを聴いている。また、検討・支援もしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時前に暫定プランを作成。入居し、本人の状態や要望を知ったうえで、より良い支援を検討、一か月後から本プランを作成、職員全体で取り組んでいる。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員も一緒に食事をしたり、話をしたりして過ごしている。本人が一人で出来ない事は一緒に行うようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の状態に合わせ、家族の方との外出、面会への声掛けを行っている。ホーム全体で行う行事には家族も参加している。		

【千葉県】グループホーム ヴィスタリオ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の制限はなく、本人に馴染みのある近所の方なども来所できるようにしている。	友人・知人・家族等の来訪を随時受け付けており、馴染みの人との関係継続を支援している。また、併設施設の利用者との交流機会も確保しており、新たな馴染みの関係構築も支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食堂やテレビ室で過ごす時間が多くとれるように支援、個々の能力に応じて介入をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院、他施設に入居されても面会に行ったり、退去後の相談も応じている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居当日より、個別担当が中心となり、本人の希望、不安を聴き、全員で共有、対応している。	契約時に本人及び家族から意向・生活歴・身体状況等を確認している。また、必要に応じて、医師や他のサービス事業所から情報を収集し、入居者一人ひとりに合わせた支援に繋げている。入居後も情報把握に努めており、会議等で検討や確認を行い、現状に即した支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居後の対応の参考になるように、入居前から本人の生い立ち、生活歴などを家族などから聴いて支援に繋げている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人の状態を見ながら一日の流れを考えている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の状態が変化した時は面会時や電話でその都度、家族に説明。医師や看護師へも報告し、話し合った上で計画を作成している。	本人や家族の意向を配慮した上で検討会議を行い、介護計画を作成している。また、医師や看護師からの意見確認も行っており、現状に即した支援内容になっている。定期的に目標の達成状況の確認や評価を実施しており、必要に応じて介護計画の見直しを行っている。	

【千葉県】グループホーム ヴィスタリオ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	フロア会議などで個別担当者が現状や介護計画の進捗譲許を報告、必要がある時は次期関係なく見直している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	隣接のデイサービスで行っている活動などに希望があれば参加できるようにしている。また、既存のサービスで対応出来ない事に関しては職員全体で他の方法も検討、実践できるようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアや保育園児の受け入れをしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの情報は収集。入居前からのかかりつけ医や法人内の訪問診療など、本人・家族等の希望で選べるようにしている。担当医とは小まめに連絡を取り、適切な医療が受けられるように支援している。	希望の医療機関への受診及び内科・歯科医の往診を実施しており、適切な医療受診を支援している。また、看護師資格のあるホーム長・非常勤の看護職員・訪問診療の看護師等と連携を図り、適切な健康管理・医療処置・相談等を行っている。他にも、訪問による薬剤指導やマッサージを導入しており、適切な医療支援を行っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常勤看護師(ホーム長)、非常勤看護師が勤務しており、常日頃から情報や気づきを報告、相談して必要な医療が受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時の状態を確認、早期に退院できるように医療相談員や看護師などと連携を取っている。		

【千葉県】グループホーム ヴィスタリオ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人の状態で医療的治療ができない時、看取りを行う可能性もある。ホームでできる事を説明、家族の希望も聴いたうえで話し合い、取り組んでいる。	終末期・重度化に関する施設方針を契約時に説明し、同意を得ている。必要時に家族・医師・訪問看護師と話し合いを行い、意向に沿った支援実施に向け体制を整えている。入居者の状態変化に合わせて、その都度家族の意向確認を行い、入居者・家族の安心と納得を得られるよう、対応方法の共有を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の研修は年に1、2回は行っている。その他にその時に応じた勉強会を行ったり、マニュアルを作成している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防署の協力の上で、入居者を交えて訓練を行っている。	スプリンクラー・火災報知器・自動通報機・消火器等の消防設備を設置していると共に、年2回の消防署立会いの避難訓練を実施している。日中及び夜間想定訓練や、消火器訓練・通報訓練等を行っており、状況に応じた避難方法の確認を行っている。また、同法人の施設にて、AEDの訓練も行っている。運営推進会議等を活用し、避難訓練の報告・意見交換を行い、外部への理解促進及び協力の呼びかけを行っている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者は個室対応。職員は声をかけてから入室している。	プライバシー保護や接遇に関する研修を定期的実施しており、入居者一人ひとりのプライバシーと尊厳を大切にしている。また、個人情報保護についても、研修・会議を通して、周知徹底を図っている。日常生活では、一人ひとりに合わせた言葉掛けや支援を心掛け、その人らしい生活の実現に向け、取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望や思いを聴き、働きかけている。		

【千葉県】グループホーム ヴィスタリオ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人のペースに合った生活リズムを職員間で会議などを通じて共有して支援している。食事也希望があれば居室で食べられるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分ができる方は自由に行き、さりげなく見守りを行っている。介入が必要な方は状態に合わせた援助を行っている。定期的に理美容が利用できるように月に3回位の訪問理容も来所してもらっている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個人に合った食事を提供できるようにしている。また、準備や片付けは一緒に行っている。	食事の準備から片付けまで、入居者の希望と能力を活かしながら職員と共同で行っている。食材や献立は業者に委託しており、栄養バランスに配慮した食事提供を行っている。また、定期的に外食や出前の実施や行事食・特別食・手作りおやつを提供を行っている。メニューについては、入居者の希望を取り入れた上で、職員のアイデアを生かしたものとなり、食事の楽しみを支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量の確認しながら、個々の状態や能力に応じて適量が摂取できるように支援している。毎月1回体重測定を行い、変化にも留意している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨き、うがいの声掛け、能力に応じた支援を行い、口腔の状態確認とケアを行っている。必要があれば訪問歯科の受診に繋げている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	本人の状態にあった排泄ができるように、本人の能力の把握と応じた支援を行って出来る限りトイレでの排泄を行えるようにしている。	排泄チェックリストを活用しながら個々の排泄パターンを把握しており、声掛け・トイレ誘導を行いながら、排泄の自立に向けた支援を行っている。また、食事メニューの工夫・水分・乳製品の摂取・体操・マッサージ等を行い自然排便を促すと共に、必要に応じて、医師・訪問看護師・薬剤師に相談しながら適切な排便コントロールに努めている。	

【千葉県】グループホーム ヴィスタリオ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分・食事の内容を工夫したり、定期的な運動を取り入れて便秘予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人希望の時間帯を全て対応する事は難しいが、入浴の希望があれば出来るだけ希望に沿うようにしている。一人では入浴できなくなっている方も入浴が楽しめるように努めている。	入居者の希望や体調に応じて、柔軟に調整しながら適切な入浴機会の確保に努めている共に、清拭・シャワー浴・部分浴等も実施しており、入居者の清潔保持に取り組んでいる。他にも、季節の果物や沐浴剤を活用する等、入浴がより楽しめるような工夫も行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の希望や状態で自由に休息がとれるように支援している。また、昼夜逆転や運動不足にはならないように配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師による薬剤指導が月一回あり、職員も必ず指導に立ち会って把握している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	散歩、ドライブ、花見などを企画し、気分転換や季節感を感じられるように工夫している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々に合った外出や散歩ができるようにしている。家族には外出、食事などの協力の声掛けしている。	希望や天候に応じて、散歩・ドライブ・買い物等を実施し、戸外に出る機会を確保している。また、戸外活動として、畑での野菜作りに力を入れている。定期的に外出会を企画・実施しており、戸外での楽しみを支援している。併設のデイサービスとはレクリエーションや合同行事等で日頃から交流の機会が多く、入居者の生活活性化に繋がっている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の能力や希望にて所持可能。使えるように個々に対応している。		

【千葉県】グループホーム ヴィスタリオ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人からの希望があれば、能力に合わせた方法で電話や手紙のやりとりが出来るように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	視覚ないはバリアフリーになっていて車いすの対応も可能。適切な光が入るように状態に合わせてカーテンの開閉などを工夫している。庭や玄関で季節に合わせた草花や野菜・果物などを作り、楽しめるようにしている。	共有スペースには、椅子・ソファ・テーブル・和室が設置されており、入居者が自由にくつろげる環境整備がなされている。また、ウッドデッキが設置されており、日向ぼっこやお茶飲みに活用する等、気軽に外の空気を楽しむ環境整備がなされている。温度・湿度計を設置しており、定期的に温度・湿度・空調管理を行い、快適に生活できるよう取り組んでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者個々の性格や能力、希望を把握したうえで席を工夫している。食事以外の時間は自由に手着るように支援している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の能力や動線に配慮したうえで、以前から使い慣れた家具や食器などを持ち込んでもらい、居心地良く過ごせるように工夫している。	希望に応じて、馴染みの物を自由に持ち込む事が可能となっており、居心地良く生活できるよう配慮している。また、テレビやポータブルトイレの設置・畳や布団を敷く事も可能となっており、生活歴に合わせた居室作りがなされている。各居室に鍵・収納スペースが設置されており、プライバシーの確保に配慮している。一部の居室には洗面台が設置され、利便性に配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室には分かり易いように能力や身体に合わせた名札を付けている。共有スペースにははするがあり、能力に応じて介助している。		